

2024年7月18日  
Kudan株式会社

## ドイツにて公共施設の大規模デジタルツイン案件を受注

Kudanは、ドイツ地方政府が主導する公共施設のデジタルツイン活用案件を受注し、学校・大学施設の3次元モデルの作成に取り組むことのお知らせいたします。

Kudanは、デジタルツイン向けの高精度で高効率な3Dスキャン技術とそのソリューションの提供を欧州で展開しており、これまで[ドイツ連邦政府とも連携](#)をして公共案件への技術実装に取り組んできました。デジタルツインの活用は、現実空間を複製した3次元デジタル情報データベースの構築であり、あらゆるDXソリューションを下支えするプラットフォームとして、ドイツ行政施策における重要性が増しています。

今回の取り組みは、学校・大学施設を対象としたデジタルツイン活用としてはドイツで初めての取り組みであり、ドイツ地方都市の学校・大学施設(スポーツ施設を含む)を対象として、最新の人工知覚技術による高精度で高効率な3Dスキャンを実施し、約2,000の部屋・空間・設備のデジタルツインを生成する計画です。

将来的には、ドイツの学校・大学施設へのデジタルツインを活用したソリューションの導入(デジタル・アセット・マネジメント・ソリューションなど)を見込んでおり、3次元デジタル情報を活用した点検やメンテナンスなどのO&M業務(オペレーション&メンテナンス)の効率化や、設備改修時の設計コストや資産管理コストの削減など、公共設備管理に関わる幅広い業務のDX推進と付加価値創造を後押ししていきます。

(今後の見通し)

本開示内容による当期業績への影響は現時点では軽微と見込んでおります。今後開示すべき事象が生じた際は速やかに開示いたします。

### 【Kudan株式会社について】

Kudanは、人工知覚(AP)のアルゴリズムを専門とする深層技術の研究開発企業です。人工知覚(AP)は、人工知能(AI)と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudanはロボティクス・デジタルツイン・自動運転などを中心に幅広い次世代ソリューションに対して技術ライセンスを提供しています。詳細な情報は、Kudanのウェブサイト(<https://www.kudan.io/jp/>)をご参照ください。

#### ■会社概要

会社名: Kudan株式会社  
証券コード: 4425(東証グロース)  
代表者: 代表取締役CEO 項大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)